

ご購入ありがとうございます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。本取扱説明書はお手元に保管してください。

製品仕様（改良のため予告なく変更する場合があります。）

■時 間 精 度：平均月差 ±30 秒以内（気温 25℃で使用した場合） （電波時計による時刻修正を行わない場合）	■電 波 受 信：40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせる ●自動受信（最多3回 /1 日）●手動受信
■表 示 精 度：± 1 秒以内（電波受信による時刻修正の直後）	■電波受信状況表示
■使 用 電 源：専用アダプター AC1 0 0 V 50-60Hz	■カレンダー表示：2000 年 1 月 1 日～ 2099 年 12 月 31 日（フルオート）
■消 費 電 力：5W	■アラーム：電子音（2 分間オートストップ）
■補 助 電 池：コイン型リチウム電池（CR2032） 1 個（電池別売）	■明るさ無段階調整
■使用温度範囲：0 ～ +40℃	■音量無段階調整
■時 刻 表 示：12 時間制表示	

●印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

本体のご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容	注意 障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容
強制 ●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受ける。	禁止 ●下記のような場所では使わない 精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になる。 ◆直射日光が当たる所 ◆火気のそば ◆暖房機器の風が当たる所 ◆温度が+ 4 0℃以上の所 ◆温度が－ 1 0℃以下の所 ◆ほこりが多く発生する所 ◆強い磁気を発生させる機器のそば ◆車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所 ◆プール、温泉場などガスの発生する所 ◆調理場など多くの油を使用する所 ◆色移りや付着、変質をすることがあるため、ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに、 長い間、直接ふれさせておかない。 ●強い振動や衝撃を与えない 故障や破損の原因になる。

電池のご注意

危険 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容	電池について ●電池のご使用上のポイント ◆⊕と⊖を間違えない。 ◆時計が動いていても定期的に交換する。 ◆長期間使用しないときは機器から電池を取り外す。 ◆電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容	電池の交換について 注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守り下さい。 ●時計が動いていても製品仕様欄に記載の電池交換の期限を目安に、定期的に交換する。 ※電池着脱の際は、ケガをしないように注意して下さい。
禁止 ●電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。 ◆電池に傷をつけない。 ◆電池をショートさせない。 ◆電池を充電しない。 ◆電池を加熱しない。 ◆電池を火の中に入れない。 ◆電池に直接ハンダ付けをしない。 ◆⊕と⊖を逆に入れない。 ●電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない。 衣服に付着した場合は、すぐに水で洗い流す。 アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する可能性が高い。 ●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取る。 修理が必要な場合は、ご購入の販売店または当社サービスセンターにご相談下さい。	電池・時計の廃棄について ●廃棄の際は、お住いの地区自治体の指定に従って下さい。 ●電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁する。 （他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあるため）

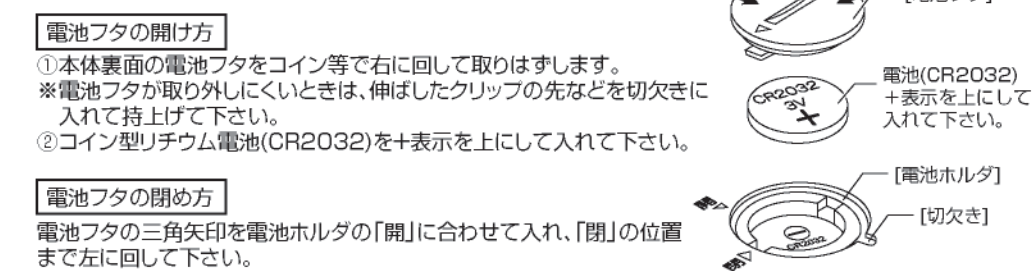
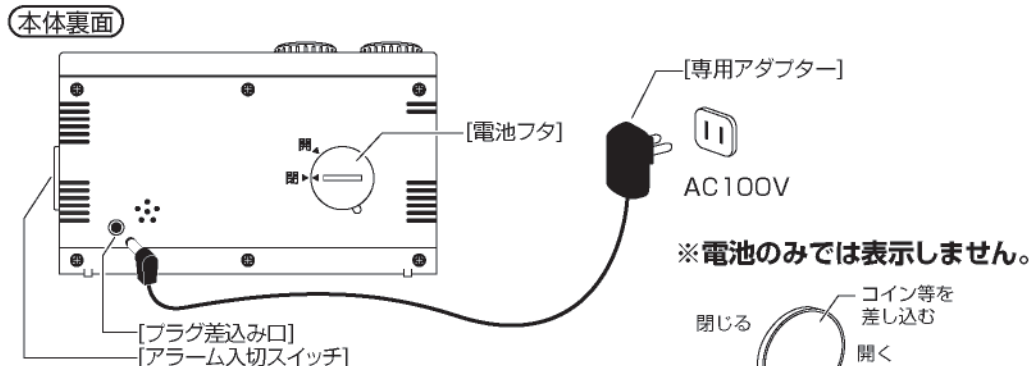
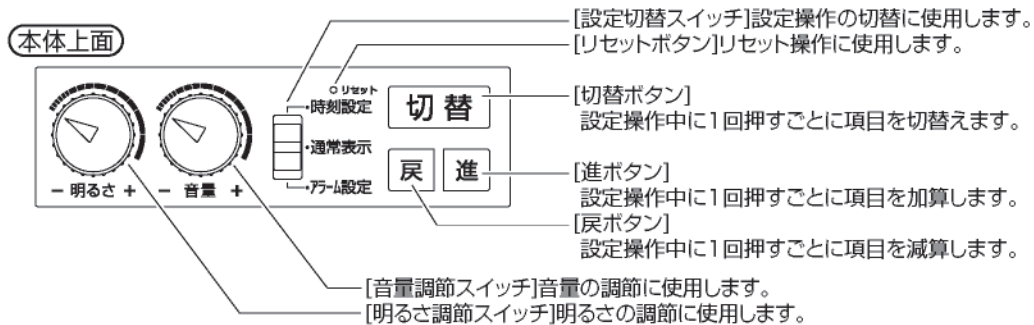
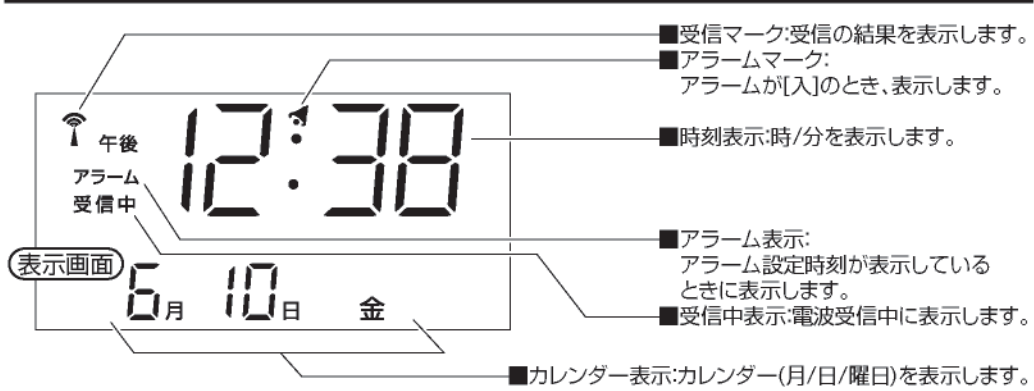
注意 障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容	強制 ●電池の⊕⊖を正しく入れる 液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になる。
--	--

AC アダプターのご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容	注意 障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容
強制 ●必ず付属の AC アダプターを使用する 他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがある。 ●AC アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使い方をしない 定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になる。 ●電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい 差し込みが不完全だと、火災や感電の原因になる。 ●本体や AC アダプターから発熱・煙・異臭などがするときは、直ちに AC アダプターをコンセントから抜く そのままにすると、感電や火災の原因になる。 ●AC プラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になる。 ●使用中の AC アダプターが触れられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止する ●電源プラグは主遮断装置であり、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する	強制 ●長時間使用しないときは、AC アダプターを取り外す 安全のため AC アダプターを取り外す。 ●AC アダプターのケーブルを引っ張らない 配線を防ぐため、コンセントから抜くときは、AC アダプター本体を持つ。 禁止 ●使用中の AC アダプターに長時間触れない 低温やけどの原因となる。
禁止 ●AC アダプターを布団などでおおった状態で使わない 熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがある。 ●雷が鳴りだしたら、本機や AC アダプターにふれない 感電の原因になる。 ●ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない ケーブルが破損して、感電や火災の原因になる。 ●AC アダプターやケーブルが痛んだときは使用を中止する そのまま使用すると、感電や火災の原因になる。 ●電源コードを束ねたり、結んだ状態で使用しないください	お問い合わせ先 ノア精密株式会社 サービスセンター 〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1 TEL:048-933-4080 受付時間:月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く) 10:00～12:00, 13:00～17:00 ※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。 あらかじめご了承下さい。 ※お問い合わせの際には、型番をお伝え下さい。 https://www.mag-clock.co.jp



各部の名称



ご使用方法

注 意 電波受信中は、時計本体を電源コンセントから1m以上離して下さい。受信に影響が出る場合があります。

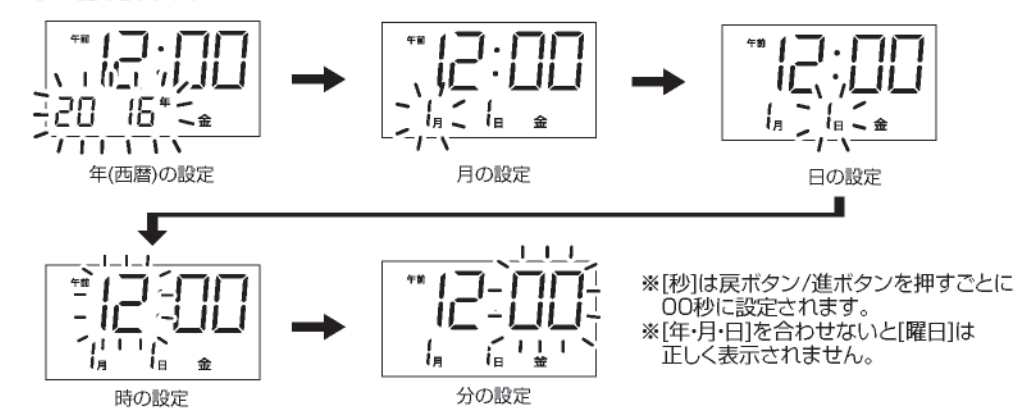
- ①表示ラベルを剥がして下さい。
- ②本体表面のプラグ差し込み口に、専用ACアダプターのプラグを差し込んで下さい。
- ③ACアダプターをコンセント(家庭用電源AC100V)に差し込んで下さい。
「ピッ」と確認音が鳴り、時刻が午前12:00で表示し、電波の受信を開始します。
*受信中は受信マークが点滅します。
*受信には最長16分かかります。
- ④受信の結果を確認して下さい。本取扱説明書の[その他の機能—受信の状態について]を参照して下さい。
●受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻と日付を修正して表示します。
●受信に失敗すると、受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。
※初期受信に失敗した場合は、3時間毎に自動受信モードに入ります。自動受信は、受信に成功するまで繰り返します。

電波受信ができなかった場合は…

- ①朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。
- ②設置場所を変える／受信をやり直す
本書「電波時計について」の「電波を受信しにくい環境」を参考に、設置場所を変えて、再度、受信をさせる。
- ③手動で時刻を設定する
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。本書「手動で時刻を設定する」を参照。

手動で時刻を設定する

- ①設定切替スイッチを時刻設定にすると、年(西暦)が表示し点滅し時刻設定モードに入ります。
- ②戻ボタン/進ボタンを押して年(西暦)を設定します。
- ③切替ボタンを押すごとに[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]が点滅します。戻ボタン/進ボタンを押してそれぞれを設定します。



- ④[分]の設定が終了したら設定切替スイッチを通常表示にして下さい。点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、手動による時刻・日付設定が完了します。

リセット操作について

電源を入れ直した直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電源を入れ直した場合は、必ずRESETボタンを押して下さい。
※RESETボタンは、伸ばしたクリップの先などで押して下さい。針などの先端の鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意下さい。

電波時計について T696-1807

電波時計とは
標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

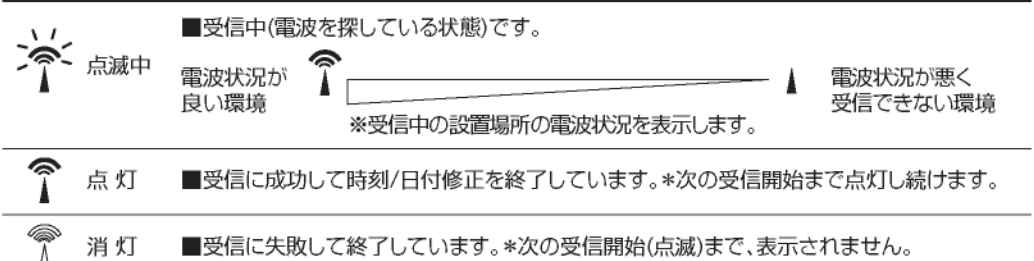
標準電波とは
情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の国内2か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について
標準電波は毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波(送信停止)することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について
本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用了場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。
情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jjy.nict.go.jp>

受信の状態について



アラーム時刻の設定

- ①設定切替スイッチをアラーム設定にすると、アラーム設定時刻が表示し点滅し、アラーム時刻設定モードに入ります。
- ②戻ボタン/進ボタンを押して[時]を設定します。
- ③[時]の設定が終了したら、切替ボタンを押します。→[分]部分が点滅します。
- ④戻ボタン/進ボタンを押して[分]を設定します。
- ⑤[分]の設定が終了したら設定切替スイッチを通常表示にして下さい。点滅が終了し、通常時刻表示に戻り、アラーム時刻設定が完了します。

※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。
※[午前]と[午後]を間違えないように注意して下さい。
※通常時刻表示のときに切替ボタンを押すと、アラーム設定時刻を約5秒間表示します。

アラーム機能の使い方

- アラームを鳴らす
アラームスイッチを[入]の位置にする。
→アラームマークが点灯
- アラームを止める
アラームスイッチを[切]の位置にする。
→アラームマークが消灯し
アラーム機能が解除されます。
- ※アラームは鳴り始めから約2分後に自動的に鳴り止まります。
- なにもしない。(オートストップ機能)
→アラームは鳴り出しから2分で自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームマークは点灯したままです。

明るさ無段階調整機能

明るさ調節スイッチにより、表示の明るさを無段階で調節することが出来ます。

■表示を明るくする
明るさ調節スイッチを右に回す。

■表示を暗くする。
明るさ調節スイッチを左に回す。

※明るさは、使用時間の経過とともに低下します。これは、光源として使用しているLEDの特性によるものです。周囲の温度などに影響を受けますが、約15000~20000時間で初期の明るさの70%程度になります。明るさが低下しても、他の機能や性能には影響しませんので、そのままご使用することが出来ます。

音量無段階調整機能

音量調節スイッチにより、音量を無段階で調節することが出来ます。

■アラーム音を大きくする
音量調節スイッチを右に回す。

■アラーム音を小さくする
音量調節スイッチを左に回す。

補助電池について

- 補助電池は、停電などの一時的(30分以内程度)にAC電源からの通電が止まった場合の、時刻のバックアップ用です。
- 補助電池のみでの使用の場合は時刻表示をしませんが、時計内部で時刻を計測しています。通電後は経過時間を加えた時刻を表示します。
※停電などで通電が遮断された後、補助電池を使用していない場合は、再通電すると時刻が12:00で表示します。このような場合は、再度設定し直して下さい。
※補助電池が無い状態で通電が遮断された場合でも、製品内部の電気が完全に放電されていなければ、再通電したときに時刻のバックアップが働くことがあります。

お手入れについて

- プラスチック枠、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラぶきして下さい。木枠、金属枠の場合は柔らかい布でカラぶきして下さい。
- ベンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。



電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
 - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
 - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - 自動車、電車、飛行機などの中
 - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
 - スチール机などの金属製家具の上や近く
 - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。